

共創型学習 (Creativity Development)

名著講読 ―未知との出会い-文学作品や随筆を読む― (great books reading - encounter with the unknown)

依岡 隆児・教授/大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 後期 月 7・8

【授業の目的】 本を読む習慣をつけます。カーソンからル＝グウィン、宮澤賢治までの古今の名著を通して、未知なるものに触れる体験したいと思います。社会人の方も交えて一緒に考え、互いに読み方や考え方の違いに触れることで、現代に生きる意味についてより深い理解が得られるようにします。

【授業の概要】 20世紀に書かれた評論・エッセイ、文学作品を中心に、今までの自分にとって未知の世界に触れることで、現代社会の様々な問題をより深く考察できるようにします。基本的には、一回の授業で一つの作品の一部を、受講生全員で読んでいきます。古今東西の名著(文学作品や随筆)を分野に捉われずにバラエティ豊かに取り上げ、線を引きながら一緒に読んで生きていきます。内容を確認したうえで、お互いに興味を引かれた箇所を披露しながら、理解を深めます。必要事項の検索ができるようにして、最後にはグループで発表を行います。また、図書館ツアーもする予定。

【キーワード】 講読, 読書, 名著, 未知

【到達目標】 読書の習慣をつけること。異なる価値観や考え方に触れることで社会性を身につける。

【授業の計画】

1. 授業ガイダンス
2. 文献リストの内容確認, 作品のピックアップ(取り上げる予定の作品は、外山滋比古『読みの整理学』, カーソン『沈黙の春』, 内田樹『先生はえらい』, サン＝テグジュペリ『星の王子様』, 北条民雄『いのちの初夜』, 村上春樹『海辺のカフカ』, 河合隼雄『影の現象学』, ル＝グウィン『ゲド戦記I 影との戦い』, フロイト『無気味なもの』, 宮澤賢治『注文の多い料理店』, 鷺田清一『「聴く」ことの手』, 福岡伸一『生物と無生物のあいだ』など)
3. 図書館ツアー
4. 作品講読(毎回違う作品の一部のコピーを三色ボールペン方式で読む)
5. 作品講読
6. 作品講読
7. 作品講読
8. 作品講読
9. 作品講読
10. グループ分け, テーマ選定, 文献に基づいた発表の準備, ディスカッション,

ン, レジュメ作成, 文献検索

11. 発表準備, ディスカッション

12. ディスカッション

13. ディスカッション

14. グループ発表

15. グループ発表

【参考書等】 依岡隆児『読書のススメ～四国から、グローバルに』(徳島新聞社)

【成績評価の方法】 授業への取り組み(出席・発表など)により総合的に評価します。

【再試験の有無】 有

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221135>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 依岡 (1308, 088-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 12時から 13時)

【備考】

- ◇ 紹介された本は各自が生協や本屋, 図書館などで手に入れておいてください。
- ◇ 本授業題目は20年度, 21年度入学者(適用年度)が対象となります。
- ◇ 25人で受講者調整